

Panasonic®

ステレオカセットレコーダー

取扱説明書

品番 RQ-8170

(視覚障害者用)



このたびは、ステレオカセットレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日」などの記入を必ず確かめ、日本点字図書館 用具事業課からお受け取りください。

保証書付き

上手に使って上手に節電

製造者

松下電器産業株式会社 オーディオ事業部

〒571-8505 大阪府門真市松生町1番4号

販売元

社会福祉法人 日本点字図書館 用具事業課

〒169-8586 東京都新宿区高田馬場1丁目23番4号

RQTT0376-S F1099KB0(D)

付属品

ステレオインサイドホン(RFEV324P-KS)

ステレオマイク(RFEM302P)

AC アダプター(RFEA415J-1S)

単 3 形乾電池 2 本

声の取扱説明書 カセットテープ(RFTRC001)

ハンドストラップ (RKHT0001-K)

ハンドストラップは本体に取り付け済みです。

付属品の買い替えは、日本点字図書館 用具事業課へご相談ください。カッコ内は、買い替え時の品番を表します。

ご不明な点は、

社会福祉法人 日本点字図書館 用具事業課

〒169-8586 東京都新宿区高田馬場 1-23-4

電話 03(3209)0751

まで、お問い合わせください。

もくじ

安全上のご注意	4
---------	---

準 備

1 各部のなまえ	8
2 ご使用の前に	10
3 乾電池で使う	10
4 電池残量を確認する	11
5 ACアダプターで使う	12
6 テープを入れる	13

操 作

7 テープを聞く	14
8 再生スピードを変える	16
9 録音する	18
10 インデックスマーカを録音する	21
11 お知らせアラームについて	22

ご参考

12 テープについて	23
13 お手入れ	24
14 機器の故障防止のために	25
15 故障かな！？	26
16 主な仕様	28
保証とアフターサービス	30

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)



この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

必ずお守りください

本体



警告

分解・改造しない



機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。

点検や修理は、販売店へご依頼ください。

分解禁止

自動車やバイク、自転車などの運転中は、インサイドホンで使用しない



周囲の音が聞こえにくく、交通事故の原因になります。

歩行中（特に、踏切や横断歩道）でも周囲の交通に十分注意してください。



注意

異常に温度が高くなるところに置かない



機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

夏の閉め切った自動車内や、直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

インサイドホン使用時は、音量を上げすぎない



耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

安全上のご注意（つづき）

ACアダプター



警告

ぬれた手で、ACアダプターの抜き差しはしない



感電の原因になります。

ぬれ手禁止

コード・プラグを破損するようなことはしない



傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。ACアダプターを抜き、乾いた布で拭いてください。長期間使用しないときは、ACアダプターを抜いてください。

プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

注意

抜き差しは、AC アダプター本体を持つ



コードを引っ張ると、コードが傷ついたり、ちぎれたりし、火災や感電の原因になることがあります。

付属の AC アダプターを交流 (AC) 100 V で使う



指定外の電圧や電源で使用すると、火災や感電の原因になることがあります。

乾電池

注意



以下のことを守り正しく取り扱う

⊕ と ⊖ は正しく入れる

新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない

充電しない

加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない

長期間使用しないときは、取り出しておく

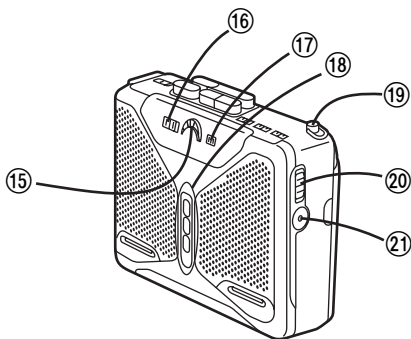
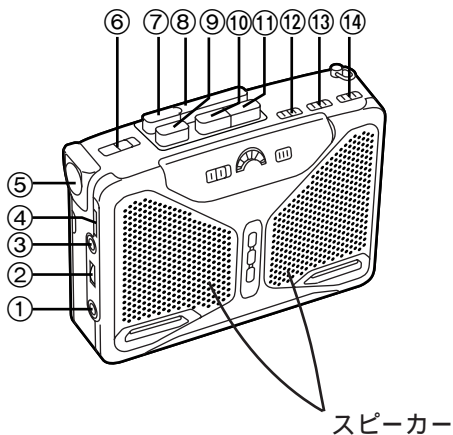
ネックレスなどの金属物といっしょにしない

取り扱いを誤ると、電池の液漏れにより、火災や周囲汚損の原因になります。

万一液漏れが起こったら、販売店にご相談ください。

液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

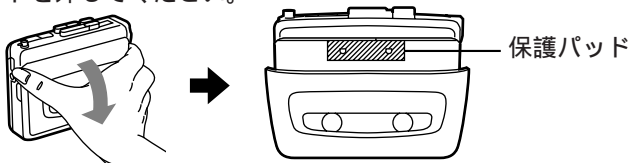
1 各部のなまえ



- ① 🎧 (インサイドホン用) 端子 (14、18 ページ)
- ② 音量つまみ (14、20 ページ)
- ③ ステレオマイク (プラグインパワー) 用端子 (18 ページ)
- ④ インデックスマーカーボタン (21 ページ)
- ⑤ 内蔵マイク (18 ページ)
- ⑥ 誤録音防止つまみ (14、18 ページ)
- ⑦ ●録音ボタン (18 ページ)
- ⑧ ▶再生ボタン (14 ページ)
- ⑨ ■停止ボタン (14、18 ページ)
- ⑩ ◀◀ 巻戻し/レビューボタン (14 ページ)
- ⑪ ▶▶ 早送り/キューボタン (14 ページ)
- ⑫ お知らせアラームつまみ (22 ページ)
- ⑬ 2倍録音つまみ (14、18 ページ)
- ⑭ 一時停止つまみ (14、18 ページ)
- ⑮ 再生スピードダイヤル (16 ページ)
- ⑯ デジタル早聞きつまみ (17 ページ)
- ⑰ 電池残量確認ボタン (11 ページ)
- ⑱ 電池残量ランプ (11 ページ)
- ⑲ ハンドストラップ取り付け用金具
ハンドストラップが取り付けられています。
- ⑳ 再生音質つまみ (14 ページ)
- ㉑ 外部電源 DC IN 4.5 V 端子 (12 ページ)

2 ご使用の前に

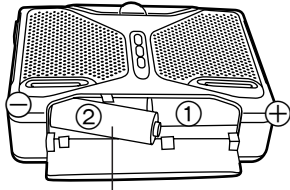
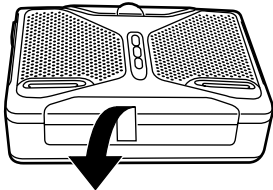
初めて使うときは、まずカセットふたを開け、輸送用の保護パッドを外してください。



3 乾電池で使う

■ 乾電池を入れる

- 1 乾電池ふたを矢印の方向に押し上げ、開ける。
- 2 単 3 形乾電池 2 本を、 \oplus 、 \ominus を確かめて入れる。



単 3 形乾電池 2 本 (付属)

乾電池は、Panasonic のアルカリ乾電池をお使いください。
マンガン乾電池をお使いの場合は、低温時に正しく動作しないことがあります。

充電式電池をお使いの時には、Panasonic の充電式電池をおすすめします。

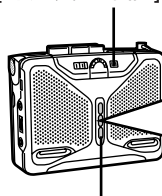
4 電池残量を確認する

電池残量は、電池残量ランプとお知らせ音で確認することができます。

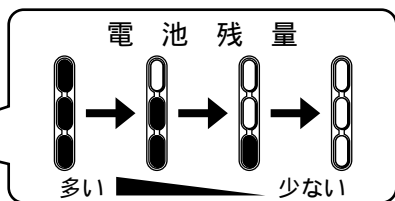
■ 電池残量をランプで確認する

本体表面のランプが、操作中は常時点灯、停止中は[電池残量確認]を押すと、約5秒間点灯します。

[電池残量確認]



電池残量ランプ



■ 電池残量をお知らせ音で確認する

操作中、停止中を問わず、[電池残量確認]を押すと、電池残量に応じて次のようにお知らせします。

残量が約半分以上・・・ピ、ピ、ピ（電池残量ランプは3つ点灯）

約半分以下・・・ピ、ピ（電池残量ランプは2つ点灯）

残り少ない・・・ピ（電池残量ランプは1つ点灯）

電池切れ・・・無音

お知らせ音の大きさは、音量に合わせて変わります。

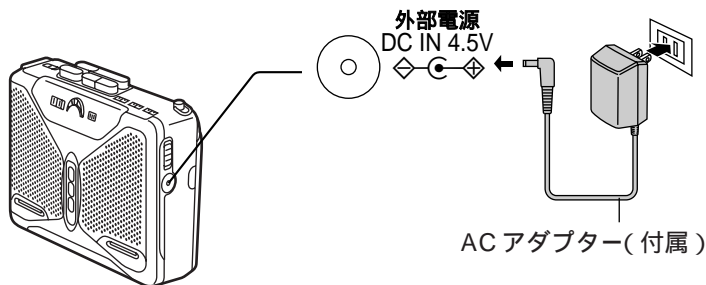
インサイドホン使用時は、インサイドホンからのみ音がでます。

各操作の前に、電池残量を確認してください。

特に、録音の前には必ず確認し、電池残量が残り少ないときは全部新しい電池に交換することをおすすめします。

5 AC アダプターで使う

ACアダプター(付属)を接続すると、自動的にAC電源に切り換わります。



ACアダプターは、必ず付属のアダプターをご使用ください。
乾電池や充電式電池を使うときは、必ず本体側のプラグを外してください。

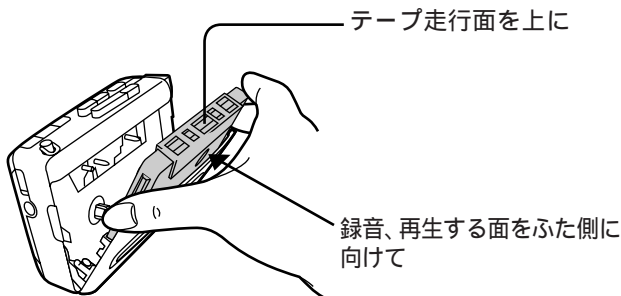
本体とACアダプターは、少し離してお使いください。

長期間使用しないときは、節電のため本体の電源を切り、
ACアダプターをコンセントから抜いておくことをおすすめ
します。(本機を使用していなくても、ACアダプターが
約1.3Wの電力を消費しています。)

ACアダプターで使用しているときは、電池残量確認ランプは
常時3つ点灯します。(お知らせ音はピ、ピ、ピと鳴ります。)

6 テープを入れる

カセットふたを開けてカセットテープを入れ、ふたを閉める。



テープはふたの内側に沿うように入れてください。
テープ操作中は、カセットふたを開けないでください。

■ 使用できるテープについて

ノーマルポジションテープ (TYPE I) をお使いください。
ハイポジション (TYPE II)、メタルポジション (TYPE IV) テープを使用しても、正しく再生、録音、消去することができません。

7 テープを聞く

誤録音を防ぐため、[誤録音防止]を「入」(“→”の方向にずらす)にしておくことをおすすめします。

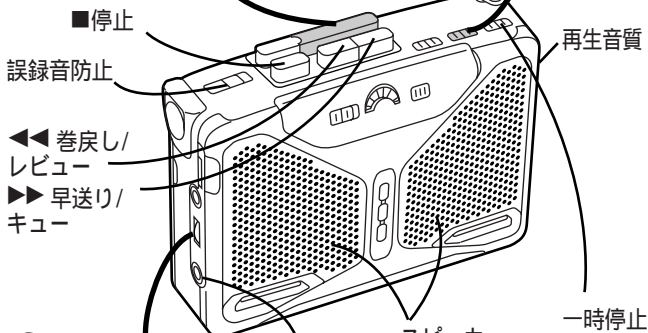
準備： [一時停止]が解除されていることを確認する。

1 [標準]、[2倍]を切り換える。

録音したときと同じ位置に合わせてください。

2 [▶再生]を押す。

電源も入ります。



3 [音量]を回して調節する。

テープを止めるときは [■停止]を押す。

■ インサイドホン（付属）で聞く

[🎧](インサイドホン用)端子に、しっかり差し込んでください。インサイドホンを接続すると、スピーカーから音はでません。

■ 再生音質つまみ

3段階に切り換えることができます。

[高]・・・高音を強調したいとき

[中]・・・普通の音質

[低]・・・ソフトな音質で聞きたいとき

■ 一時停止つまみ

「入」(“→”の方向にずらす)にすると、テープ走行を一時的に止めることができます。再び操作するときは、解除してください。

一時停止状態では電源は切れていません。長時間使用しないときは、必ず[■停止]を押して電源を切ってください。

■ 早送り/キュー、巻戻し/レビューボタン

停止中に押し込むと、テープを早送り、巻戻しします。止めるときは、[■停止]を押します。再生中に押すと、押ししている間キュルキュルという音を聞きながら早送り(キュー)、巻戻し(レビュー)できます。

早送り、巻戻し中に再生ボタンを押し込まないでください。

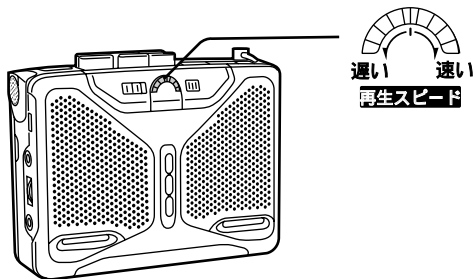
■ オートストップ

録音または再生中にテープが終端までくると、オートストップが働いて、押し込まれていたボタンが戻り、電源が切れます。早送り、巻戻しのときは、電源は切れますが、ボタンは戻りません。[■停止]を押して、ボタンを解除してください。

8 再生スピードを変える

■再生スピードダイヤルを使う

-30%から+30%の間で再生スピードを変えることができます。



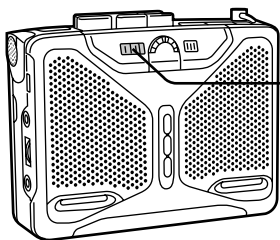
[2倍録音]の位置	スピードの変わる範囲
標準	約-30%~0%~+30%
2倍	————— 0%~+30%

通常の早さで再生するときは、ダイヤルをカチッととまる中央位置に合わせてください。

2倍録音でご使用のときは、中央より[速い]側でお使いください。

■ デジタル早聞きを使う

再生スピードは、1.5 倍速（+50%）となりますが、音声をデジタル処理するため、かん高い声にならず、聞きやすい音声で再生されます。また、テープの中で「無音部分」と判断された箇所を自動的にカットするため、あまり早口にならない早聞きが可能です。



[デジタル早聞き]
[切/ステレオ]↔[入/モノ]

[デジタル早聞き]を[入/モノ]にすると、[再生スピード]によるスピードの調整はできません。

[デジタル早聞き]を「入/モノ」にすると、音声はモノラルになります。

デジタル早聞き中のキュー、レビューは正しく動作しません。

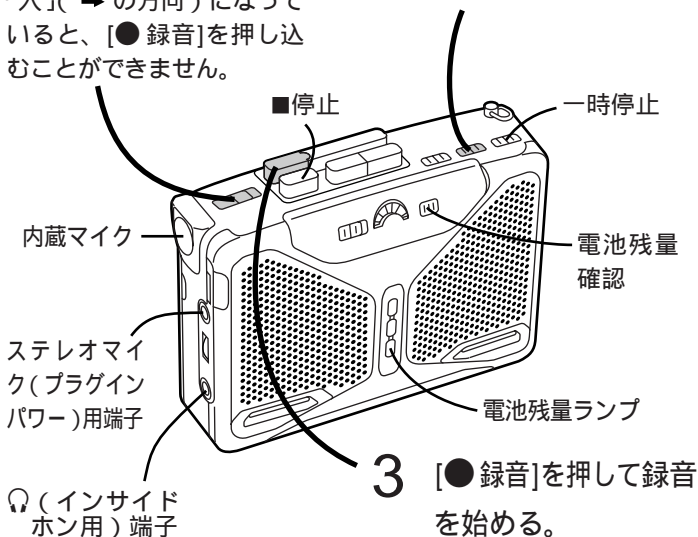
9 録音する

録音にはノーマルポジションテープ (TYPE I) をお使いください。
準備：[一時停止]が解除されていることを確認する。

1 [誤録音防止]を
解除する。

「入」(“→”の方向)になって
いると、[●録音]を押し込
むことができません。

2 [標準]または
[2倍]を選ぶ。



録音を止めるときは
[■停止]を押す。

■ お知らせ/お願い

録音を始める前に、必ず[電池残量確認]を押して、電池残量を確認してください。(11 ページ)

ランプが1つしか点灯しないとき(お知らせ音が1回するとき)は、全部新しい電池に交換することをおすすめします。

内蔵マイクでの録音は、モノラルになります。ステレオ録音したいときは、外部ステレオマイク(付属)をお使いください。録音レベルは自動的に設定されています。録音中に[音量]を回しても、録音されるテープには影響しません。

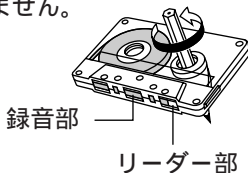
テープが入っていないときに[●録音]を押しても、ボタンを押し込むことはできません。

録音済みのテープに録音すると、前の録音は消去され、新しい録音のみが残ります。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

■ テープの始めから録音するときは

あらかじめテープ端にあるリーダーテープ部を送り出しておいてください。



■ 外部ステレオマイク(付属)を使う

[ステレオマイク(プラグインパワー)]用端子にプラグをしっかりと差し込んでください。プラグを差し込むと、内蔵マイクは自動的に切れます。

[デジタル早聞き]が[入/モノ]のときは、モノラル録音になります。ステレオ録音の場合は[切/ステレオ]になっていることを確認してください。

9 録音する（つづき）

■ 2倍録音について

テープの録音時間を2倍にして録音することができます。
(60分テープで両面120分の録音が可能です)

よりよい音で録音したいときは、[標準]で録音されることをおすすめします。

[2倍]で録音したテープは、同じ機能のついたテープレコーダーで再生してください。

■ モニターについて

録音している音をインサイドホン（付属）で聞くことができます。
[音量]で、インサイドホンから聞こえる音量を調節してください。（録音レベルに影響はありません）

また、録音時は[一時停止]を「入」(“→”の方向にずらす)にしてもモニターができます。

録音開始前からモニターをするには、[一時停止]を「入」にしてから[●録音]を押してください。[一時停止]を解除すると、録音を開始します。

インサイドホンは、[🎧]（インサイドホン用）端子にしっかり差し込んでください。

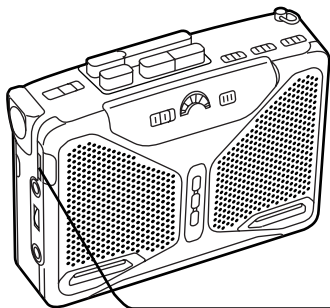
■ 後追い録音について

再生中に[●録音]を押すと、その位置から録音することができます。
録音したものを一部修正したいときなどに便利です。

10 インデックスマーカ―を録音する

録音中に[インデックスマーカ―]を押すと、耳にほとんど聞こえない低周波の信号が約 8 秒間録音されます。

インデックスマーカ―をつけると、再生時のキュー、レビュー時にマーカ―部で「ポー」という音が聞こえ、聞きたい部分を素早く探すのに便利です。



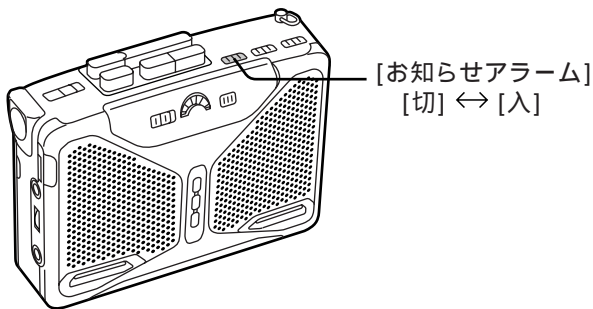
[インデックスマーカ―]

インデックスマーカ―の信号音は、キュー時とレビュー時で異なります。また、テープの最初と最後では巻き取られる速度が違うため、テープの箇所によっても違います。

一度つけたマーカ―はテープを消去しない限り消えません。

11 お知らせアラームについて

使用中の電池切れとテープが終端まで来たことを音でお知らせする機能です。[お知らせアラーム]が[入]のときに働きます。アラーム音の大きさは、音量に合わせて変わります。インサイドホン使用時は、インサイドホンからのみ音がします。



■ 操作中に電池が切れたら・・・ピーピーピーピー

■ テープが終端まできたら

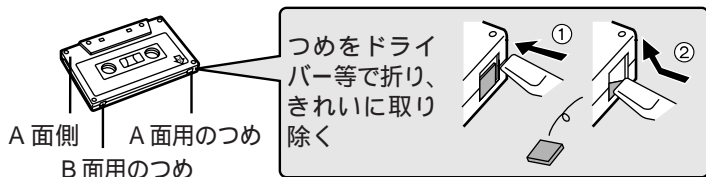
録音、再生・・・ピピピピ、ピピピピ、ピピピピ
[● 録音]、[▶ 再生]が自動的に解除されます。

早送り、巻戻し・・・ピピピピ、ピピピピ、ピピピピ
ボタンは解除されません。[■ 停止]を押して、解除してください。

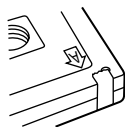
12 テープについて

■大切な録音を誤って消さないために

カセットの安全片を折り取って、大切な録音をお守りください。安全片を折り取ると、誤って録音を消してしまうことがなくなります。



再び録音したいとき
セロハンテープ等を貼ってください。



■100分を超えるテープ

テープが薄いため、こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しを繰り返さないでください。(回転部分に巻き込まれることがあります)

■エンドレステープについて

使用方法を誤ると、テープが回転部分に巻き込まれます。必ず、テープについている使用説明をお読みください。

13 お手入れ

■ 本体が汚れたら

柔らかい布で拭いてください。ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布で拭き、後はからぶきしてください。

アルコールやシンナーは使わないでください。

化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ テープの音をよい音でお楽しみいただくために

市販のクリーニングテープを使って、定期的に清掃されることをおすすめします。

14 機器の故障防止のために

強い衝撃を与えたり、落下させたりしないでください。

水、砂、ほこりの付近ではカセットふたを開けないでください。

風呂場など湿気の多い所、倉庫などほこりの多い所で使わないでください。

雨にぬらさないでください。

15 故障かな！？

まず、次の点をご確認ください。
直らない時は、日本点字図書館 用具事業課へご相談ください。

こんなときは	ここをご確認ください	参照ページ
動かない	乾電池が消耗していませんか？	11
	乾電池の⊕⊖を逆にに入れていませんか？	10
	電源を乾電池に切り換えるとき、ACアダプターのプラグを本体から外していますか？	12
	[一時停止]が[入]になっていませんか？	14、18
録音ができない	テープは入っていますか？	19
	テープのつめは折れていませんか？	23
	乾電池が消耗していませんか？	11
ステレオ録音ができない	外部ステレオマイクを使用していますか？	19
	[デジタル早聞き]は[切/ステレオ]になっていますか？	19
完全に消去できない	ノーマルポジションテープを使用していますか？	13

こんなときは	ここをご確認ください	参照ページ
インサイドホンから音が聞こえない、ジャリッと音がする	プラグは奥まで入っていますか？ （[Ω]（インサイドホン用）端子にしっかり差し込んでください） プラグが汚れていませんか？ （汚れを拭き取ってください）	- -
スピーカーから音が出ない	インサイドホンが接続されていませんか？ （インサイドホンを接続すると、スピーカーから音は出ません）	-
再生スピードが速い、遅い	[2倍録音]は、録音したときと同じ位置になっていますか？ [再生スピード]の位置は中央になっていますか？	14 16

16 主な仕様

トラック方式	ステレオ
録音方式	AC バイアス
消去方式	マグネット消去
モニター方式	バリアブル
周波数範囲 (ノーマルポジション)	
再生 (インサイドホン) :	40 - 16000 Hz (EIAJ)
録音 :	80 - 8000 Hz (EIAJ)
入力端子	
マイク :	0.6 mV (200 - 600 Ω) (ステレオ M3 ジャック、プラグインパワータイプ)
出力端子	
ヘッドホン :	50 Ω (ステレオ M3 ジャック)
スピーカー	3.6 cm 丸形 6 Ω × 2
実用最大出力 (乾電池使用時)	
インサイドホン :	3 mW + 3 mW (EIAJ)
スピーカー :	420 mW + 420 mW (EIAJ)

電源

乾電池： DC 3 V(単 3 形乾電池 × 2 本)

外部電源： DC 4.5 V (付属 AC アダプター使用)

寸法

最大外形寸法(EIAJ)： 115.7 × 90.7 × 38.2 mm

本体寸法： 113.0 × 86.6 × 38.0 mm

質量 約 224 g (乾電池を含む)

電池持続時間(EIAJ)

使用条件		使用乾電池	パナソニック アルカリ乾電池 (LR6)
録 音			約 14 時間
再生	インサイドホン使用 (デジタル早聞き「入/モノ」時)		約 16 時間 (約 7 時間 30 分)
	スピーカー使用 (デジタル早聞き「入/モノ」時)		約 8 時間 (約 5 時間)

電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。
この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

停止時の消費電力：約 1.3 W (AC のとき)

保証とアフターサービス

保証書（裏表紙に添付）

お買い上げ日などの記入を必ず確かめ、日本点字図書館 用具事業課からお受け取りください。よくご確認いただいたあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

修理を依頼されるとき

26、27 ページの「故障かな!？」の項目に従ってご確認のあと、直らないときは、日本点字図書館 用具事業課へご連絡ください。

保証期間中は

恐れ入りますが、製品に保証書を添えて、日本点字図書館 用具事業課までご持参ください。保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、ステレオカセットレコーダーの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 6 年です。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

アフターサービスなどについておわかりにならないとき
日本点字図書館 用具事業課にお問い合わせください。

< 無料修理規定 >

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店で商品と本書をご持参ご提示いただきお申しつけください。
(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くのご相談窓口にご連絡ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くのご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けにならない場合には、お近くのご相談窓口へご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
(ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
(ホ) 一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
(ヘ) 本書のご提示がない場合
(ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。

修理メモ

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くのご相談窓口にお問合わせください。

保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

This warranty is valid only in Japan.

Panasonic

持込修理

パナソニック音響製品保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。詳細は裏面をご参照ください。

品番	RQ-8170		
保証期間	お買い上げ日から 本体 1 年間		
製造番号			
お買い上げ日	年	月	日
お客様	お名前		
	電話 () -		
販売店	住所・氏名		
	電話 () -		

松下電器産業株式会社 オーディオ事業部

〒571-8505 大阪府門真市松生町1番4号 TEL (06) 6909-1021

ご販売店さまへ 印欄は必ず記入してお渡しく下さい。